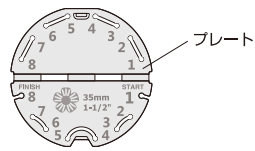


# つまみ細工プレート

丸ひだつまみ SS

作り方説明書

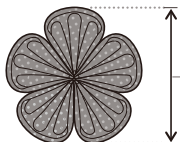


はじめに...

1枚の布から花びら1枚が作れます。

花びらを数枚縫いつなくと、お花ができてきます。お好みで花びらの数を調節してください。

お花



花びら



<SS> 約3.5cm

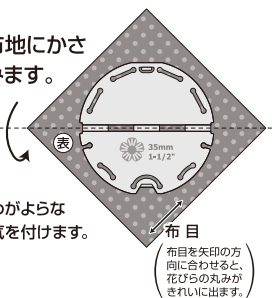
※使用する布や作る花びらの枚数によって変わります。

## 1 プレートに布地をはさみ、カットします。

① プレートを布地にかさね、折り込みます。

布の用尺  
約6cm角

※ 布地にしわがよらないように気を付けます。



布目を矢印の方向に合わせると、花びらの丸みがきれいに出来ます。

② プレートの端の突起部で布地をはさみ、固定します。

※ 布地によっては、プレートが開いてくる場合があります。その場合は、手で押さえながら使います。

プレートの端の突起

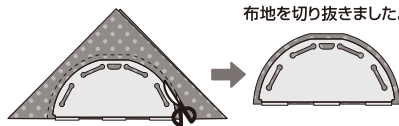
プレートの奥までしっかり布をはさみます



③ プレートに沿って、布地を切り抜きます。

※ ぬいしろは必要ありません。

布地を切り抜きました。

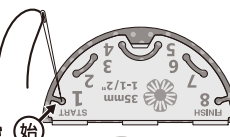


## 2 プレートの番号順に、長穴に糸を通します。

① 裏返して「1 START」位置の穴に針を入れ、反対側の長穴の「1」位置に針を出します。

糸の長さ  
約60cm

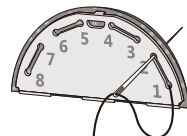
糸端は大きめの玉結び



反対側



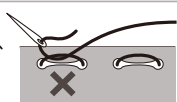
② 同じ長穴の「2」位置に針を入れ、糸がたるまないように引きます。



※ 糸を引きしめすぎて、プレートにはさんだ布をずらさないようご注意ください。

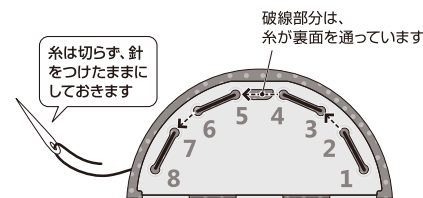
注意!

糸がたるんでいると、糸がからまる原因になります。

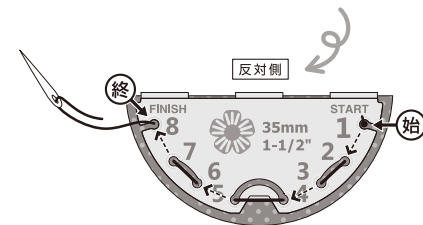


③ 続けて、番号順に長穴に糸を通していきます。

※ 順番を間違えた場合は、針をはずし糸をほどいてやり直します。



破線部分は、糸が裏面を通っています



☑ チェックポイント

縫い目は長穴の内側を通ります。

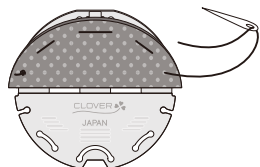


縫い目がプレートをまたいで、別の長穴に通っている場合は間違いです。

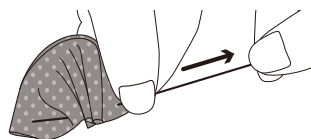


### 3 プレートをはずし、花びらの形を整えます。

① プレートをはずします。



② 糸を引きしめます。



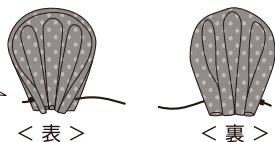
③ 花びらの形を整えます。

花びらの先端を折り返し、形を整えます。



花びらのできあがりです。

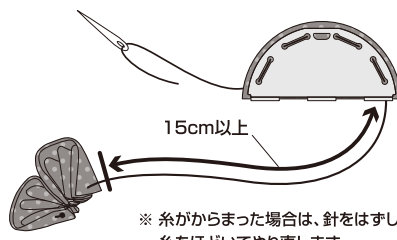
玉結びが左にくる方が表です



### 4 続けて花びらを作り、お花を作ります。

① 同じ糸を使って、①～③をくりかえし、必要な数の花びらを作ります。

糸がからまらないように、できあがった花びらとプレートを15cm以上離します。



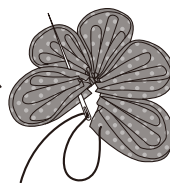
※糸がからまった場合は、針をはずし糸をほどいてやり直します。

#### 糸が途中で足りなくなったら・・・

糸が途中で足りなくなった場合は、糸を引きしめて玉止めをします。最後に作った花びらの根元に新しい糸を通し、続けて花びらを作ります。



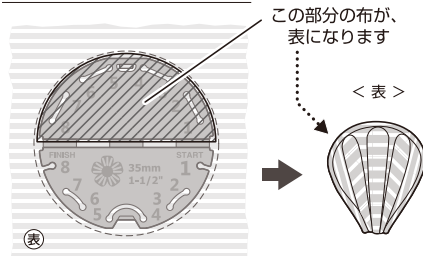
② 最初の花びらの根元に針を通し、糸を引きしめ、玉止めをします。



中心にボタン等をつけたり、花びらの数を変えてアレンジできます。



#### 柄合わせをしたい場合



#### 準備する材料 (5枚の花びらのお花を作る場合)

花びら1枚分の布の用尺 × 花びらの枚数(5枚)	約 6cm角 × 5枚
糸の長さ ※ キルト糸などの丈夫な手ぬい糸	約 60cm

#### ○ 適する布

薄地～普通地のやわらかい布

シーチング、ブロード、サテン、ちりめん、オーガンジー、シフォン など

#### ✕ 適さない布

中厚～厚地、硬い布、目の粗い布

デニム、キャンパス、フェルト、厚地ウール、コーデュロイ、パイル、ニット地、皮革及び合成皮革、コーティング加工布、レース など

#### 使用上の注意

- ・本体は高温により変形しますので、アイロンなどのご使用はお避けください。
- ・過度の力が本体に加わると破損・変形の原因となりますので、厚地や硬い布地のご使用はお避けください。
- ・長期間使用しない場合は、布地をセットしない状態で保管してください。

⑤ 本製品や作り方説明書を無断で複製し配布することを禁じます。

クローバー株式会社  
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5  
「お客様係」TEL.(06)6978-2277